

パレットヒルズ探索ハート

～樹木編～



ちゅうい
注意すること



※ 白っぽい服やTシャツとハチよけに。
ガニも見つけやすいよ!

ツタウルシ



もっともがぶれやちい
りル状の植物。
ツヤツヤしていて
3枚ずつセットの
葉っぱだよ!

ヤマウルシ



がぶれに注意!
葉のつけねの
が赤いのが
特徴だよ。

スズメバチ



刺されると
理々しく痛み。
最悪の場合は
命の危険も。
出会ったら、ジッと
ハチが走るのを待とう。

マダニ



もしも咬まれたら、
無理にとりよせせず、
病院でとって
もらおう。

樹木の見わけ方

葉のつき方



互生



対生



8~30m

高木
(たかばく)



2~8m

亜高木
(あこうばく)



0.3~2.0m

低木
(ていばく)

高木・低木



パレットヒルズ^{じゅ もく}樹木マップ



も く じ

- | | | | |
|-----------|--------|------------|--------|
| ① エゾヤマザクラ | ・・・P5 | ⑭ ハルニレ | ・・・P16 |
| ② チシマザクラ | ・・・P5 | ⑮ チリメンドロ | ・・・P17 |
| ③ ナナカマド | ・・・P6 | ⑯ キハダ | ・・・P18 |
| ④ シラカバ | ・・・P7 | ⑰ スモモ | ・・・P19 |
| ⑤ ケヤマハンノキ | ・・・P8 | ⑱ ハスカップ | ・・・P19 |
| ⑥ オニグルミ | ・・・P9 | ⑲ ヤマブドウ | ・・・P20 |
| ⑦ イヌエンジュ | ・・・P10 | ⑳ サルナシ | ・・・P20 |
| ⑧ ヤチダモ | ・・・P11 | ㉑ ヤマグワ | ・・・P21 |
| ⑨ イタヤカエデ | ・・・P12 | ㉒ ホオノキ | ・・・P22 |
| ⑩ ヤマモミジ | ・・・P12 | ㉓ カラマツ | ・・・P23 |
| ⑪ ミズナラ | ・・・P13 | ㉔ ヨーロッパトウヒ | ・・・P24 |
| ⑫ ハリギリ | ・・・P14 | ㉕ レンゲツツジ | ・・・P25 |
| ⑬ シナノキ | ・・・P15 | ㉖ オオカメノキ | ・・・P25 |
| | | ㉗ オオウバユリ | ・・・P26 |



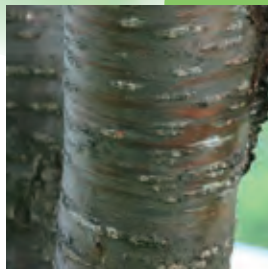
1 エゾヤマザクラ

バラ科 高さ15~20m

パレットヒルズには2000本の桜が植えられているよ。
 6月から7月にかけて小さなサクラノボのような実がついて、サクラの実に季節
 は動物のフンを見つけたらタネがいっぱいはいってる。こうして動物たちにタネを
 運んでもらうことで、離れた場所に子孫を残すことができるんだ。

ひとのかか 人の関わり

樹の皮を使って器や茶筒を作るなど昔か
 ら人の生活に使われてきました。木材は
 削った表面が滑らかなのでしゃもじや和
 菓子の木型に使われています。



2 チシマザクラ

バラ科 高さ3~5m

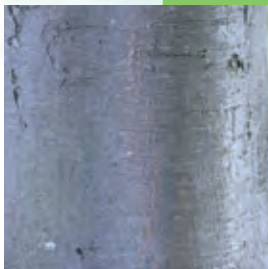
エゾヤマザクラよりも少し遅れて薄いピンク色の花を
 咲かせます。
 葉っぱや花の柄に細かい毛が生えているのが特徴
 ですが、毛の量や花の色などチシマザクラの中でも個
 体差が大きく、専門家でも見極めるのが難しいほど。



3 ナナカマド

バラ科 高さ10m

5月から6月にかけて白い花を咲かせ、たくさんの実を付けます。秋になると実は赤く熟し、やがて鮮やかな紅葉が始まります。ナナカマドの実ほととも苦く冬の始まりの頃は鳥たちも食べません。しかし、春になるころにはすっかり実は無くなっています。冬の間凍ったり溶けたりを繰り返す中でだんだん苦みが抜けていくようです。鷹栖町の町木に指定されているナナカマド、花言葉は安全・賢明で町民の安全と賢明なまちづくりを見守っています。



ナナカマドは燃えない？

7回かまどに入れても燃えないからナナカマドという話を聞いたことがあります。実際にナナカマドの薪を作って燃やしましたが、ほかの薪と一緒に無くなってしまいました。それほど燃えにくい木ではないようです。他にも7日かけて炭を作ると良い炭ができる、実を7回炊くと食べられるなどの由來があります。



4 シラカバ

カバノキ科 高さ20~25m



シラカバは土砂崩れや洪水などにより土が露出した栄養の少ない場所にいち早く生えるパイオニアツリー(先駆種)です。成長が早く毎年葉や枝を落とし地表に養分を与えながら、森を再生していく。シラカバは木としては寿命が短く70年ほど。枯れた後も菌類や虫に分解されやすく、キツキの餌場になるなど多くの恵みをもたらしてくれます。

シラカバの木は柔らかくて家具には向かないと思われていました。実際に使ってみたら白くて美しく強さも十分だとわかり、最近では家具に使われるようになってきました。



5 ケヤマハンノキ

カバノキ科 高さ20m

土の中のバクテリア(根粒菌)と共生して成長に必要な栄養素をもらい、やせた土地でもよく育つので、緑化のために植えられます。

ケヤマハンノキの「ケ」は毛が生えているという意味で葉の裏に毛が生えている。どんな手触りが触ってみよう!

オレンジ色の丸木

ケヤマハンノキの木をチェーンソーで切り倒すと切り口が最初は白いのけど、鮮やかなオレンジ色になっていく。空気に触れると色が変わる成分が含まれているんだね。乾燥させた木材はやさしいピンク色をしているよ。



2cmほどの
小さな木ぼっくり
のような臭も
つけるよ!



6 オニグルミ

|| クルミ科 高さ15~20m ||



オニグルミの葉は羽状複葉は うじょうふくようと言って一本の葉柄いっぽん ようへいに小葉しょうようが複数ふくすうついて一枚いちまいの葉はになっている。大きなものは50cmもあり、パレットヒルズの木の中で一番おお大きい葉はをもっている。

冬ふゆに枝先えださきを観察かんさつしてみよう。葉はがついていたあとが動物どうぶつの顔かおに似にてるといわれてるよ。何なにに見えるかな？

ふと き
太い木がない。

オニグルミの材ざいは軽かるくて変形へんけいしにくいため、銃床じゅうしょうや飛行機ひこうきのプロペラにつかに使つかわれました。戦争せんそうのために大量たいりょうに伐採ばっさいされたため、太い木ふと きにはなかなか会あえませんが、パレットヒルズには若いオニグルミの木わか きがたくさん生はえてるのでこれから大きおおくなっていくのが楽したのしみです。



7 イヌエンジュ

マメ科 か たか 高さ10~15m

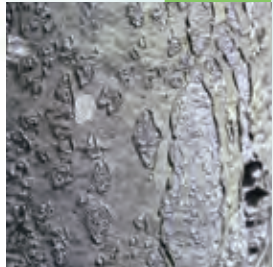
春、他の木が葉っぱを開き終えたころ、イヌエンジュはやっと葉を開く。新芽は細かくて白い毛におおわれているので、太陽の光が当たると輝いてとてもきれいになる。木には明るい所が好き(陽樹)と日陰が好き(陰樹)があり、イヌエンジュは明るい所が好き(陽樹)な木だ。

ツートンカラーの木材

イヌエンジュは木の内側の材(心材・赤身)が茶色で木の外側(辺材・白木)が黄色い、磨くと美しく材も丈夫だ。この特徴を活かした工芸品がいまでも作られている。中でもエンジュ(延寿)で彫られたフクロウ(不苦勞)は縁起物として人気がある。



木ぼりのフクロウ



8 ヤチダモ

モクセイ科 高さ30m



まっすぐに伸びる葎は水気の多い沢の近くでよくみられる。湿地など谷あいの土地を谷地と呼び、そういった場所に多く生えているのが名前の由来だ。パレットヒルズに生えているヤチダモも近くに水があることが多い。



ユキムシの一生

木目がはっきりしていて美しい
木目は年輪が木材の表面に現れたもので、ヤチダモは水を通す管(道管)が年輪の境目に集まっている。木目がはっきりみえるのはこの道管の層のおかげで、美しく粘りのある材はタモ材と呼ばれ、建築や家具、野球のバットなど幅広く利用されている。



9 イタヤカエデ

ムクロジ科 か たか 高さ20~30m

こんな話を聞いたことがある。「春分しゅんぶんのころイタヤの枝えだを折ると樹液じゅが出るんだ。次の朝あさにはつららつぎになっあさてから、それをなめながら学校がっこうに通ったもんだ。」枝から滴る樹液はほんのり甘く、煮詰めるあまとメープルシロップになる。

きめの細かい美肌びはだな材ざい
イタヤカエデの材はイタヤと呼ばれうすく裂いてカゴが編めるほどしなやかだ。歪よこしまと呼ばれる縮模様しぼもようや鳥の目とりめのような模様もようがあらわあらわれることもあり、家具や調度品ちやうどひんに使われています。

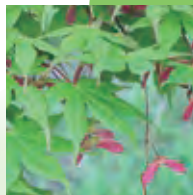
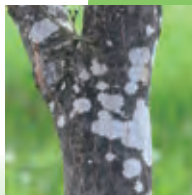


10 ヤマモミジ

ムクロジ科 か たか 高さ10~15m

モミジとカエデの違いをよく聞かれますが、カエデの仲間の中で葉の切れ込みが深い、葉が小さく真っ赤に紅葉するのがモミジと言われていますが、植物の分類上ははっきりとした区別はありません。

成長が遅く木材にするのには向いていませんが、ち密な材質を活かし木のスプーンなどの小物の製作にはとても良い材です。



11 ミズナラ

ブナ科 高さ30m



ミズナラのタネはみんなが知っているどんぐりです。この地域にはカシワというどんぐりの木もあって帽子の形で見分けられます。どんぐりは野生動物の貴重な食料で10%~30%のどんぶんが含まれています。人の生活にも欠かせない木で、キノコ栽培の原木や割りやすく火持ちがいいので薪や炭に、水が漏れず香りがいいのでウイスキーの樽にも使われています。



森の未来

北海道のミズナラ材はとても品質が高く海外からも必要とされています。しかし、大量伐採によって数が減ってしまいました。100~200年かけて育った木を薪や紙にして一瞬で消費してしまうより100年使える家具や建物に使ったほうが森や自然にいい気がします。ミズナラに限らず、木材を使い続けられる方法を考えていかなければなりません。



ミズナラ
のどんぐり



カシワ
のどんぐり



12 ハリギリ

ウコギ科 高さ25m

森の中を散策するときに、ハリギリの幼木には気を付けなければいけない。いろんな場所に生えていて大きく鋭いトゲがある。幹のトゲは木が大きくなるにつれて無くなります。

幼木を観察するとイモムシのような枝がついている。これは短枝と呼ばれ、毎年少しずつ大きくなる。短枝のしわの数をかぞえると何年かかってイモムシができたのかわかる。

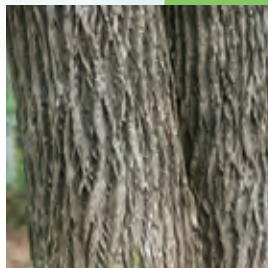
木材になると名前が変わる

ハリギリは木材業界ではセンとかセンノキと呼ばれ、加エがしやすく軽いので器や家具に使われています。ゆっくり育った年輪幅の狭い材を目の詰んだ材と言い、広葉樹では軽く柔らかくなり、針葉樹では重くて硬くなる。センの目の詰んだ材はヌカセンと呼ばれ、真つすぐな細かい木目が美しい。

幼木の時だけ
トゲがあるよ！



ときどき
大きな、
トゲが
生えていることも
探してみてね！



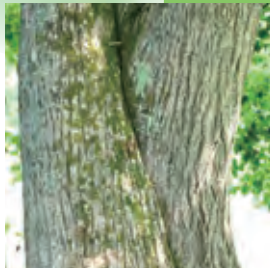
13 シナノキ

アオイ科 高さ20m



パレットヒルズの2本並んだ大木の管理棟から見ると左側がシナノキだ。似た仲間間にオオバボダイジュがあり葉が一回り大きくうらに毛が生えているなどの違いで見分けられる。

シナノキはオオバボダイジュと合わせると北海道の広葉樹の中で3番目に資源量が多い。花からは蜂蜜が、樹皮からは強い繊維が取れ縄や布が作られていた。



木目が薄く白い材
シナノキは丸太を大根のかつらむきのように削り、接着剤で貼り合わせてシナベニヤになると、収縮が抑えられて使いやすくなるため、建築の内装や家具に多く使われています。

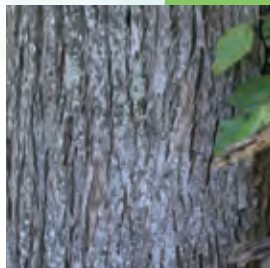




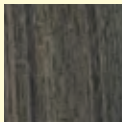
14 ハルニレ

ニレ科 高さ30m

パレットヒルズの2本並んだ大木の管理棟から見ると右側がハルニレだ。
 北海道の開拓当時はアカダモと呼ばれ大木が肥沃な土地に立つことから開墾
 の目印にされ今でも開拓記念樹として各地で大木が残されている。
 隣のシナノキ同様にハルニレの樹皮からも縄が作られていました。
 この二本の大木は固い絆で結ばれたパレットヒルズの守り神のようです。



神代
 洪水や土砂崩れなどにより土の中
 に埋まっていた木は、長い時間をか
 けて土の中の成分と反応し変色して
 いきます。これを神代と呼び、ハルニ
 レの神代は緑がか
 った濃い色になり、貴
 重な材として工芸品
 に使われています。



15 チリメンドロ (ドロノキ)

ヤナギ科 高さ30m



チリメンドロはドロノキの仲間^{なかま}で、芽^めや若葉^{わかば}に香り^{かお}がありベタベタしている。
 葉^はに縮緬^{ちりめん}のような細^{こま}かい模様^{もよう}があるため、この名^ながついた。
 北海道^{ほっかいどう}に自生^{じせい}しているのは稀少^{きせう}でニオイドロ^{べつめい}の別名^{べつめい}もある。



ドロノキは樹皮^{じゅひ}の色^{いろ}や材^{ざい}が柔^{やわ}らかいことから“泥^{どろ}”の名^な前^{まえ}がついたとい
 われている。
 森^{もり}の中^{なか}で倒^{たお}れたドロノキの丸太^{まるた}に乗^のると足^{あし}が滑^{すべ}ったことがある。樹皮^{じゅひ}
 腐^{くさ}り泥^{どろ}のようになっ^{ほか}ていた。他^{ほか}にも、刃物^{はもの}がすぐ切^きれなくなるから泥^{どろ}を吸^す
 い上げ^あてるなどと言^いわれるが、どれが本^{ほん}当^{とう}の由^ゆ来^{らい}かはわかっていない。

ヤナギの仲間^{なかま}は
 細^{こま}毛^けにも見^みえたる小^こさな
 丸太^{まるた}は、風^{かぜ}にの^のりて
 遠^{とほ}くまで運^はれるぞ。



ヤナギの仲間^{なかま}は
 水^{みづ}が大^{おほ}き。
 切^きった枝^{えだ}を水^{みづ}につけて
 おくと、枝^{えだ}から
 根^ねがほえて
 くるぞ!



16 キハダ

ミカン科 高さ25m

キハダの樹皮をはがすと鮮やかな黄色い内樹皮が現れる。これは、とても苦いけどおなかをこわしたときの漢方薬になるんだ。
アゲハやカラスアゲハの幼虫はキハダの葉っぱを食べて育つ、これらの蝶が集まっている木があったら、それはキハダかもしれないよ。

北海道ではシコロとよばれ私が昔務めていた家具工場でもキハダの木材をそう呼んでいました。キハダの実はいヌ語でシケレベといい、柑橘の香りがする香辛料として利用されています。このシケレベが変化してシコロになったと考えられます。





17 スモモ

バラ科 高さ10m

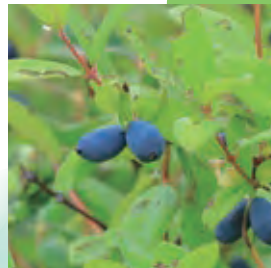
昔、中国からやってきた木で、8月頃に甘酸っぱい実が熟す。枝にはトゲがあるから、実を採るときは注意しよう。



18 ハスカップ

スイカズラ科 高さ2m

北海道にも自生地があり勇払原野が有名。いろんな木からハスカップを採ってジャムを作るとおいしくなるといわれているよ。木によって実の味が違うから食べ比べてみよう。



19 ヤマブドウ

ブドウ科 つる性

オスの木とメスの木があって、メスの木に
ブドウが成る。果実は10月頃熟し、
霜が降りると甘くなる。
葉は赤く紅葉し、ツルは丈夫でカゴ編
みに使われる。



20 サルナシ

マタタビ科 つる性

コクワと呼ばれ9月から10月頃小さなキウイフルーツのような実をつける。
木質化したツルは丈夫で腐りにくく、かんじきに使われた。



ヤマブドウもサルナシもヒグマが大好き、ツルが巻き付いた大木にはヒグマの爪痕が残っていることも。

21 ヤマグワ

|| クワ科 高さ10m ||

6月から7月ヤマグワには赤や黒の実がなる。赤い実はやがて黒くなり甘くておいしい。

山地だけではなく農家の庭や線路沿いにもよくみられるのは、北海道の開拓時代に養蚕が盛んだったため蚕の幼虫の餌となるヤマグワが栽培されたからです。



北海道のヤマグワはあまり太くならないので木材としてはあまり見かけませんが、金色に輝くような美しさがあり硬くて強いので工芸の分野では銘木として扱われています。



祖先は、
ワリコという蝶。
絹をとるために
品種改良された。
自然界にはいないよ。



22 ホオノキ

モクレン科 高さ20m

ホオノキは葉、花、実の香りが良く、葉っぱは食べ物を包むのに使われ、実はお茶になります。6月にホオノキの下で白い花びらを見つけたら匂いをかいでみよう。森の中でも大きな葉っぱと灰色と白のまだら模様の樹皮が特徴的なので見つけやすいと思います。

まだ家庭にプリンターが普及する前は年賀状を木版画でつくることがあったため、本屋や文房具店でもほがきサイズのホオノキの版木が売られていた。木材は空気中の水分によりねじれや割れがおきるため、それが少なく削りやすいホオノキが版木に適していた。



23 カラマツ

|| マツ科 高さ30m ||

冬の間も緑の葉をつけているマツの仲間が多い中で、カラマツは10月下旬一
 斉に黄色になり、葉を落とす。カラマツは漢字で書くと落葉松で秋にはカラマ
 ツ林でラクヨウキノコがとれる。



電信柱や炭鉋で使われる坑木のためにたくさん植えられたカラマツで
 したが、現在では需要が無くなり放置された人工林が目立ってしま
 した。近年は木材の乾燥や接着の技術が向上し、合板や集成材にか
 工されています。おじれや割れが多くヤニが出るという欠点がありまし
 たが、建材として活躍できるようになりました。



表面がヌルヌルしていて
 大きいナメコみたい!!



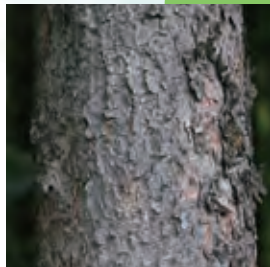


24 ヨーロッパトウヒ

マツ科 か たか 高さ30m

ヨーロッパトウヒの^{した}下を^{ある}歩くとエビフライのようなものが^お落ちていた。
 大きな^{なが}長い^{まつ}松ぼっくりが^{とくちよう}特徴で^{なまえ}名前^{どお}の通りヨーロッパから^も持ち^こ込まれた。100年^{ねん}ほど^{まえ}前から^{しょうりん}植林^がされていたが、^{がいこく}外国^{さんじゆ}産樹種^{のため}のため^{げんざい}現在は^うあまり^ま植え^られていない。
 森^{もり}のエビフライは^たエゾリス^{しん}が^ま食べた^{まつ}松ぼっくり^の芯^{しん}だった。

^{せいちょう}成長^{はや}が早く^のまっすぐ^の伸びるので、ヨーロッパでは^{いちばん}一番^{おお}多く^{しょうりん}植林^さされている。
 ホームセンターで^う売られている^{ざい}ツーバイフォー材^のにもヨーロッパトウヒが^{つか}使^われている。



25 レンゲツツジ

ツツジ科 高さ2m

6月にオレンジ色の花を咲かせパレットヒルズでもみんなを楽しませてくれる。この花にはアゲハチョウも集まります。大きな花の根元にある蜜も長いストローのような口で吸うことができるんだ。ツツジの仲間には毒があるものが多いから舐めてはいけません。



キアゲハ



26 オオカメノキ

ガマズミ科 高さ5m

亀の甲羅のような形の葉っぱをみつけたらそれはオオカメノキだ。周りに大きな広葉樹が生えているような日陰になる場所でも大きな葉で効率よく光合成を行い、生き延びることができる。



27 オオウバユリ

ユリ科 草本

オオウバユリは木ではないけど、パレット
ヒルズでは数を増やそうと保護活動が
行われているので紹介します。

タネから芽を出して毎年葉の枚数を増や
しながら5年から10年以上かけて球根
(鱗茎)に花を咲かせるための養分をた
めていきます。一度花を咲かせるとタネを
飛ばすために養分を使い切り枯れてし
まいます。枯れた球根の横には小さな
球根が残されていて、また5〜7年後に
花を咲かせます。

木と草の違い

木は毎年太くなり、草は1年から数
年で枯れると覚えておけば、ほぼ
間違いありません。

木には幹と樹皮の間に形成層と
いう木が太くなるための組織があ
り、草にはこれがありません。



<メ毛>



パレットヒルズ探索ノート
～ 樹木編 ～



発行日 2022年 秋
写真・文 原 弘 治
イラスト 白木 雪乃
発行 鷹栖町

〒071-1292

ほっかいどうがみかわぐんたかすちようみなみ じょう ちようめ
北海道 上川郡 鷹栖町 南1条3丁目5-1

tel (0166)87-2111

<http://town.takasu.hokkaido.jp>

